

【令和7年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和7年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。  
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。  
 ※ 詳細は必ず募集要項を確認してください。

募集のあった時期	申請方法	財団名 奨学金等名	給付/賞金	金額(円)	支給期間	出願資格等										全体の採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数				
						年齢		専攻分野	併用条件	学内推薦枠	学外推薦枠	性別	国籍	その他	※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。									
						学部	博士(前期)														博士(後期)			
2月	大学推薦	(一財)野田育英財団	給付	60,000円/月額	正規の最短期間	○ 2年生			25歳未満(申請時)	経済学部、経営学部	給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○							35名程度	5名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(一財)ココ育英会	給付	学部: 30,000円/月額 修士: 60,000円/月額	正規の最短期間	○ 2年生			1年生	理工学部	併用可	○	○							6名程度	1名	14名	2名	2名
2月	大学推薦	(公益社)鳥谷記念がわ奨学金	給付	修士: 800,000円/年額 博士: 1,200,000円/年額	正規の最短期間	○ 1年生			1年生	理学、工学	併用不可	○	○							5名	3名	7名	3名	2名
2月	大学推薦	(公財)JPC奨学財団	給付	40,000円/月額	正規の最短期間	○ 1年生			1年生	理工系	併用可	○	○							13名程度	2名程度	26名	2名	0名
2月	大学推薦	(公財)旭硝子財団	給付	修士: 100,000円/月額 博士: 120,000円/月額	正規の最短期間	○ 1年生			1年生	人文・社会系、自然科学系	他機関より月額1万円以上の給付奨学金等を受けていない者	○	○							修士20名程度 博士10名程度	各学系(修士1名、博士1名)	17名	2名	1名
2月	大学推薦	(公財)小原白梅育英基金	給付	50,000円/月額	正規の最短期間	○ 1年生			1年生		併用不可(日本学生支援機構貸与奨学金、授業料免除は除く)	○	○							30名程度	2名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)北野生涯教育振興会	給付	学部: 60,000円/月額 修士: 70,000円/月額	正規の最短期間	○ 2年生 または 3年生 編入生			45歳以下(募集年度4月1日時点)		併用不可(日本学生支援機構貸与奨学金、授業料免除は除く)	○	○							15名程度	1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)セシ奨学財団	給付	50,000円/月額	募集年度4月から1年間	○ 3~4年生			23歳以下(募集年度4月1日時点)	都市科学部建築学科	併用可	○	○							30名	2名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)博報堂教育財団	給付	了。授業料相当額: 50,000円/月額 イ。自宅外生への特別支援額: 50,000円/月額 ※	正規の最短期間	○				教育学部	給付型奨学金との併用不可(授業料免除は除く)	○	○							100名程度	第1推薦枠1名 第2推薦枠1名	4名	2名	2名
2月	大学推薦	(公財)森下仁丹奨学会	給付	40,000円/月	正規の最短期間	○ 1年生			1年生		給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構貸与奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)	○	○							30名程度	1名	2名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)エンプラス横田教育振興財団	給付	50,000円/月額	正規の最短期間	○ 2~4年生			2~4年生	理工学部	給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○							12名程度	1名	2名	2名	2名
2月	大学推薦	(公財)大林財団	給付	50,000円/月額	正規の最短期間	○ 1~2年生			22歳以下(募集年度4月1日時点)		給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構奨学金、学内奨学金を除く)	○	○							2名	2名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)西山奨学財団	給付	60,000円/月額	正規の最短期間(毎年継続審査あり)	○ 新1年生			新1年生		給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構奨学金、学内奨学金を除く)	○	○							20名程度	2名	3名	2名	0名
2月	大学推薦	(公財)古河記念基金	給付	自宅30,000円/月額 自宅外35,000円/月額	正規の最短期間(最長6年)	○ 2~4年生			2~4年生	理工科系	併用可	○	○							記載無し	1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(学部生)(公財)同窓育英会 吉野給付奨学金	給付	学部生 40,000円/月額 大学院生 60,000円/月額	正規の最短期間	○ 3年生			3年生	ジャーナリスト、ジャーナリズム研究者を志す者	併用可	○	○							20名	3名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)フジール財団	給付	学部: 70,000円/月額 修士: 80,000円/月額	正規の最短期間	○ 3年生			3年生		給付型奨学金との併用不可(学内奨学金、日本学生支援機構給付奨学金および海外留学支援の奨学金は除く)	○	○							学部26名程度 院生24名程度	学部1名 院生1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)吉田育英会 ドクター21【予約採用】	給付	20万円/月額 学校納付金として合計250万円以内の実費 海外研究活動支援として合計100万円以内の実費	正規の最短期間	○ 2年生			30歳未満(募集年度4月1日時点) 入学希望者	自然科学系	併用不可(条件付きで日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)	○	○							5名程度	2名	1名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)吉田育英会 マスター21【予約採用】	給付	18万円/月額 または ①学校納付金として合計250万円以内の実費 海外研究活動支援として合計50万円以内の実費	正規の最短期間	○ 4年生			27歳未満(募集年度4月1日時点) 入学希望者	自然科学系	併用不可(条件付きで日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)	○	○							15名	1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(一財)野崎わかば会	給付	30,000円/月額	正規の最短期間	○ 3年生			3年生	理工学部 数物・電子情報系学科	併用可	○	○							記載無し	各学年1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(公財)浦上奨学会	給付	40,000円/月額	正規の最短期間	○ 入学者			入学者		給付型奨学金との併用不可(当会以外の海外留学奨学金、貸与型奨学金は除く)	○	○							10名程度	1名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)昭和育英会	給付	40,000円/月額	正規の最短期間	○					併用可	○	○							25名程度	1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	(院生)(公財)同窓育英会 吉野給付奨学金	給付	60,000円/月額	正規の最短期間	○ 1年生			1年生	ジャーナリスト、ジャーナリズム研究者を志す者	併用可	○	○							20名	3名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	新規財団 OBC和田財団	給付	40,000円/月額	正規の最短期間	○ 2年生			2年生		給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○							24~26名	1名	0名	0名	0名
2月	大学推薦	(公財)G-7奨学財団	給付	年間上限1,200,000円	募集年度4月から1年間(継続の再申請可能。標準修業年限を上回して支給)	○ 1年生			1年生		併用可(ただし支給額を調整することあり)	○	○							85名程度	1名	14名	4名	0名
3月	大学推薦	(一財)井門奨学財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期間	○ 2~4年生			25歳以下		併用可	○	○							20名程度	2名	7名	2名	2名
3月	大学推薦	(一財)北野財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期間	○ 2~4年生			25歳以下(募集年度4月1日時点)	理工系(主に土木・建築・都市計画及び電気系)	併用可	○	○							25名程度	1名	9名	2名	1名
3月	大学推薦	(一財)大成学術財団	給付	60,000円/月額	正規の最短期間(毎年継続審査あり)	○ 2年生			24歳以下	建築、土木、都市開発等、建設関係	併用可	○	○							15名程度	1名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	(一財)花まる・伸生育英財団	給付	20,000円/月	正規の最短期間	○ 2年生			25歳以下	教育学部	併用可	○	○							10名程度	1~2名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	(一財)底野環境財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期間	○ 3年生			3年生		併用可	○	○							15名	2名	2名	1名	1名
3月	大学推薦	(一財)清水育英会	給付	50,000円/月額	正規の最短期間	○ 2~4年生			25歳以下(募集年度4月1日時点)	建築、土木又は都市計画等	併用可	○	○							35名程度	3名以内	6名	2名	0名
3月	大学推薦	(学内奨学金) YNU大澤奨学金	給付	50,000円/月額	正規の最短期間(毎年継続審査あり)引き継ぎ修士課程2年間支給可能	○ 2年生			2年生		給付型奨学金との併用不可(新入生スタートアップ奨学金、日本学生支援機構給付奨学金、授業料免除は除く)	○	○							4~5名		7名	4名	4名
3月	大学推薦	(学内奨学金) YNU竹井准子記念奨学金	給付	50,000円/月額	正規の最短期間(毎年継続審査あり)	○ 1年生			1年生		給付型奨学金との併用不可(新入生スタートアップ奨学金、日本学生支援機構給付奨学金、授業料免除は除く)	○	○							3名		3名	2名	2名
3月	大学推薦	(学内奨学金) 新入生スタートアップ奨学金	給付	150,000円/1回	募集年度1回	○ 1年生			1年生		併用可	○	○							20名程度		18名	18名	18名
3月	大学推薦	(学内奨学金) 八幡ねじ・鈴木健吾奨学金 募集休止・再び募集再開	給付	50,000円/月額	正規の最短期間(毎年継続審査あり)	○ 1年生 ※			1年生 ※		給付型奨学金との併用不可(新入生スタートアップ奨学金、日本学生支援機構給付奨学金、授業料免除は除く)	○	○							3名		0名	0名	0名

【令和7年度 日本人等奨学金リスト】

※ このリストは、令和7年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。  
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、揭示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。  
 詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内のあった時期	申請方法	財団名 奨学金名	給付/貸付	金額(円)	支給期間	出願資格等										全体の採用者数	大学推薦者数	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						課程			専門分野	併用条件	学費優待	試験	※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。								
						学部	修士(前期)	博士(後期)					年齢	学費優待	試験						学費優待
3月	大学推薦	(公益信託)日新奨励奨学基金	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	理工学部	併用可	○	○	募集年度4月時点で東京都内に居住する理工学部3~4年生に在学する者 ・贈呈式および懇話会に出席できる者	15名	1名	0名	0名	0名			
3月	大学推薦	(公財)CTC未来財団	給付	60,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	IT	併用可	○	○	・募集年度4月に学部に入学者 ・財団が定める学力要件及び家計要件を満たす、品行方正、学業優秀な者 ・修学状況及び生活状況について随時報告できる者 ・ITを活用して様々な社会課題を解決する意欲を持つ者	20名程度	3名	0名	0名	0名			
3月	大学推薦	(公財)アイザワ記念育英財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用不可(日本学生支援機構貸付奨学金、授業料免除は除く)	○	○	・募集年度4月時点で学部2~4年生に在学する者 ・人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難であると認められる者 ・得業、産業・文化活動において社会に貢献しようとする者 ・財団が主催する行事に必ず出席できる者	記載無	1名	4名	2名	2名			
3月	大学推薦	(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団	給付	200,000円/年額(一括支給)	募集年度1回	○	○	○		併用可	○	○	・食科学に関連する研究を行なう大学院生で、学業、人物共に優秀かつ健康であり、学費の支援が必要と認められる者 ・就学および生活状況を毎月報告、年度末に財団指定の書類が提出できる者 ・留学予定のない者	100名程度	2名	0名	0名	0名			
3月	大学推薦	(公財)伊勢丹奨学会	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	経済学部、経営学部	併用可	○	○	・募集年度4月入学の学部1年生で、将来良識ある社会人として活動できる見込みがある者 ・高校の最終2年の学業成績の平均が5以上の者 ・学業、人物ともに優秀、修学可能な心身で、学費の支弁が困難な者 ・財団が主催する行事に積極的に参加できる者	記載無	3名	5名	2名	2名			
3月	大学推薦	(公財)いで環境・文化財団	給付	200,000円/年額(一括支給)	募集年度1回	○	○	○	環境分野	併用可	○	○	・募集年度4月1日時点で学部2年生以上(大学院博士課程までを含む)で正規課程において、得業、環境保全の分野で社会貢献を目指すための専門科目を履修している者(環境分野におけるシンポジウム等での発表や環境政策提言等を行った経験があれば優待する) ・原則として、GPAが2.5以上の者 ・財団が定める活動報告書を随時提出できる者	30名程度	各学部、各研究科3名まで	7名	6名	2名			
3月	大学推薦	(公財)紀文奨学財団	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	・財団の設立趣意に高い志を持ち、品行方正、心身が健康で学業に優れ、将来良識ある社会人として活躍が期待できる者 ・経済的な理由により、修学が困難な者	80名	2名	12名	2名	2名			
3月	大学推薦	(公財)佐藤定城国際奨学財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	理工系又はスポーツに励む者	併用可	○	○	・募集年度4月時点で学部2~3年生に在学する者 ・品行方正、志強堅固、健康で学業成績優秀な理工系の学部に通う学生、又は、スポーツに励んでいる者(全学部対象、全国大会レベル程度の成績がある者) ・家計要件あり(世帯年収税込800万円未満、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合は世帯年収税込1,000万円未満が目安)	15名程度	3名程度	1名	1名	1名			
3月	大学推薦	(公財)三菱UFJ信託奨学財団	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	経済学部、経営学部、理工学部	併用可(財団に要届出)	○	○	・募集年度4月時点で学部2年生に在学する者 ・父母の税込年収合計800万円未満(就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合は1千万円未満)の者 ・心身ともに健康で学業成績、人物ともに優れている者 ・得業、民間企業・官公庁・学校等に勤労し、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 ・財団が主催する行事に出席できる者	記載無	2名	2名	2名	2名			
3月	大学推薦	(公財)TAKEUCHI育英奨学会	給付	60,000円/月額	募集年度4月から2年間	○	○	○	理工系(機械工学、電気工学、制御工学等)	併用可	○	○	・長野県出身者で、募集年度4月時点で学部2~3年生あるいは修士(博士前期)1年生に在学する者 ・品行方正、志強堅固、健康で学業成績が優秀である者 ・財団が主催する授与式、交流会(初年度1回)に必ず出席できる者 ・財団が指定する書類を随時提出できる者	70名程度	—	2名	0名	0名			
3月	大学推薦	(公財)国土育英会	給付	18,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	・募集年度4月時点で正規性として学部生、院生として在学する者 ・健康優良で学業、人物ともに優秀な者 ・毎年度末に財団が指定する書類を随時提出できる者 ・財団が主催する交流会に出席できる者	10名	2名	11名	1名	0名			
3月	大学推薦	(公財)中部奨学会	給付	学部:給付・貸付30,000円/月額 修士(博士前期):給付・貸付60,000円/月額 博士後期:給付60,000円/月額 ※本学では貸付と返済負担募集しません	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	・人物、学業ともに優れ、健康でありながら、経済的理由により修学が困難な者 ・毎年人員の奨学金のため、最近採択率が非常に低傾向(実績は奨学会種別HPを確認)。今年度も同様とは限らないが、留年の申請すること	学部:給付4名、貸付8名 修士:給付2名、貸付4名 博士:給付6名	募集人数を越えない範囲	8名	5名	0名			
3月	大学推薦	(公財)日本証券奨学財団	給付	自宅45,000円/月額 自宅外55,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	他の奨学金との併用不可(日本学生支援機構貸付奨学金は除く)	併用不可	○	○	・将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な者 ・財団が主催する各種行事に出席できる者 ・奨学金修学時に授業料前払金に加入し、勤続や居所の変更を報告を行うこと	60名程度	3名	9名	2名	2名			
3月	大学推薦	(公財)浦上奨学(特別)	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	貸与奨学金との併用可。民間奨学金との併用不可。日本学生支援機構給付奨学金、自治体奨学金、大学独自の奨学金との併用可。	併用可	○	○	・障害者支援施設・養育院による経済状況の悪化のため、就学が困難な学業生 ・災害救助法適用地域に在住している、もしくは同様に実家が被災し、家庭が倒壊するなどして経済的理由により修学が困難な者 ・心身ともに健康であり、品行方正で学修意欲が高いもの	10名程度	1名	1名	1名	1名			
3月	大学推薦	JIES・出光興産(潤滑技術)	給付	80,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	学部22歳以下、修士28歳以下(募集年度4月1日時点)	併用不可(貸与奨学金、授業料免除は除く)	○	○	・募集年度4月時点で修士(博士前期)1年生もしくは2年生、又は博士後期1年生に正規生として在学する日本国籍を有する者(永住者含む) ・財団の要請に応じてアンケート等への回答および交流会、インターンシップに参加できる者 ・過去に本奨学金を受給したことがない者 ・財団が定める学修研究状況、生活状況の報告および卒業後進路の報告ができる者	2名程度	1名	1名	0名	0名			
3月	大学推薦	相模ホールディングス株式会社	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、授業料免除は除く)	○	○	以下のすべてに該当する者 ・相模線沿線に在住している ・母子家庭または父子家庭である ・経済的な理由により修学が困難な状況にある	9名	1名	4名	2名	2名			
4月	大学推薦	(一財)大森昌三記念財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	学部23歳以下、修士28歳以下(募集年度4月2日時点)	併用可	○	○	・もの作りに関わり、技術の向上及びものに関する研究を行う者 ・学業、人柄に優れ、学費の支弁が困難と認められる者 ・財団が主催する行事に積極的に参加できる者	25名程度	2名	6名	2名	0名			
4月	大学推薦	(一財)ケーオーデンタル小浜産育奨学財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	23歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・学業優秀で心身ともに健康である者。 ・家計要件あり ・毎年度末に財団指定書類を提出できる者	10名程度	3名	1名	1名	1名			
4月	大学推薦	(公財)川村育英会【学部】	給付	40,000円/月額	募集年度6月より正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	以下のすべてに該当する者 ①化学、応用化学、化学工学などの化学系、および、機械、電気電子工学を専攻 ②父母及び生計を—にする世帯年収税込500万円以下である者(祖父母の年金収入は除く) ③成績証明書記載の学業成績に占める、80点以上の成績評価の割合が50%以上 ・奨学金取扱式(交流会)に必ず出席できる者	7名	1名	0名	0名	0名			
4月	大学推薦	(公財)川村育英会【大学院】	給付	70,000円/月額	募集年度6月より正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	以下のすべてに該当する者 ①化学、応用化学、化学工学などの化学系、および、機械、電気電子工学を専攻 ②父母及び生計を—にする世帯年収税込500万円以下である者(祖父母の年金収入は除く) ③成績証明書記載の学業成績に占める、80点以上の成績評価の割合が50%以上 ・奨学金取扱式(交流会)に必ず出席できる者	14名	1名	1名	0名	0名			
4月	大学推薦	(公財)中村積善会	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	40歳未満(出願時)	併用可	○	○	・成績が優れた者で、家計要件が日本学生支援機構第一種奨学金の基準内の者 ・自主的向学心に富み、態度、行動が学生にふさわしく、得業、良識ある社会人として活動する見込みがある者 ・国家社会に貢献する意欲と志望の意込みがある者 ・10月入学者、動機先からの派遣学生、学業に支障のあるような定職又はアルバイトに従事している者は不可とする	記載無	2名	41名	2名	2名			
4月	大学推薦	(公財)広智奨学会	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		理工系学部	併用可	○	○	・学業優秀で心身ともに健康である者。 ・家計要件あり ・毎年度末に財団指定書類を提出できる者	38名	2名	9名	2名	1名		
4月	大学推薦	(公財)山田満育英会	給付	40,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		理系分野	併用可	○	○	・給与世帯年収税込900万円以下、給与以外世帯課税所得410万円以下の者	20名程度	3名	3名	3名	2名		
4月	大学推薦	(公財)春秋育英会	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	26歳以下(修了時)	併用可	○	○	・日本在住の特定の保証人が得られる者 ・心身健全、学力優秀かつ経済的理由により修学困難な者 ・原則として保護者の年収税込800万円以下である者	80名程度	2名	2名	4名	4名			
4月	大学推薦	(公財)高村育英会	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○	・給与世帯年収税込600万円程度、給与以外世帯課税所得300万円程度以下である者 下取りしに該当する者 ①母子、父子世帯 ②障害者のいる世帯 ③長期療養者(6ヶ月以上)のいる世帯 ④その他、成績の悪い成績者(成績不良)と世帯	28名	1~2名	0名	0名	0名			
4月	大学推薦	(公財)日揮・実吉奨学会	給付	400,000円/年額(一括支給)	募集年度1回	○	○	○	30歳未満(募集年度4月2日時点)	理工系	併用可	○	○	・人物・学力に優れ、健康である者 ・支給決定後、当金が実施する範囲に出席できる者	記載無	6名	31名	6名	6名		
4月	大学推薦	(公財)丸和育英会 自己開発チャレンジ奨学金	給付	500,000円/1回	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	・奨学金の趣旨に賛同する者 ・有能な社会人に成長したいという意欲があり、将来社会で活躍するために在学中に自己開発計画を実施しようとする志を持つ者	12名	3名	5名	2名	1名			
4月	大学推薦	フジタ奨学金制度	給付	500,000円/年額(半年毎に250,000円)	正規の最短期修業年限	○	○	○	学部25歳以下(募集年度4月3日進級時) 修士28歳以下(募集年度4月2日進級時)	給付型奨学金との併用不可(学内奨学金、日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○	・得業、建設業においてまづくりやインフラ整備などに従事しようと考えている者 ・成績優秀、品行方正かつ健康であり、経済的理由で就学が困難な者(目安:家計支弁者の年収が税込800万円未満) ・財団が主催する行事に必ず出席できる者 ※学部卒業後、大学院(指定校)へ進学する場合、再申請・再審査を経て引き続き2年間奨学金を給付する場合があります	21名	1名	0名	0名	0名			
5月	大学推薦	新規財団 (公財)瀧森科学技術振興財団	給付	40,000円/月額(10月から6ヶ月)	10月から1年6ヶ月	○	○	○		併用可	○	○	・自宅通学生 ・定期面談が可能であること ・特長:得業・未来社会の構築に向けた環境問題の解決の分野または健康で快適な生活に向けたウェルネス分野の科学技術を専攻している者	2名	学内選考なし	0名	0名	0名			
5月	大学推薦	(公財)長谷川財団	給付	20,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	・成績優秀、品行方正かつ健康であり、経済的理由で就学が困難な者	18名程度	3名	14名	3名	2名			
5月	大学推薦	JIES日本語教育普及奨学金	給付	50,000円/月額	募集年度10月から6ヶ月間	○	○	○	日本語指導	本協会の他の奨学金との併用不可(学内奨学金、日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○	・募集年度10月に学部または大学院1~2年生に正規生として在学中、日本語指導者を目指す者 ・本協会が募集前年度に実施した日本語能力検定試験の合格者 ・支給期間の間、支給される者 ・所定の様式により卒業後進路の報告ができる者 ・本奨学金支給後変更しない。アンケート等および交流会に参加できる者 ・提出された後、他の奨学金を併給目的のために本奨学金を辞退する場合は不可とする	30名程度	2名	0名	0名	0名			
5月	大学推薦	(公財)米澤・リンガー・ハット財団 《鳥取県・長崎県》	給付	20,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	学部23歳以下、院生28歳以下(募集年度3月31日時点)	併用可	○	○	・鳥取県、長崎県内の高等学校等を卒業し、募集年度4月時点で大学2~4年生または大学院に在学する者 ・給与世帯年収税込600万円未満、給与以外世帯課税所得340万円未満 ・心身が健康で、学業の専攻が困難と認められる者 ・GPA3.00以上(詳細は要項確認)	10~20名程度 (鳥取県、長崎県各5名程度)	学内選考無	0名	0名	0名			
6月	大学推薦	(一社)康神基金	給付	240,000円/年額(半年毎に120,000円) 当社ホールの無料宿泊優待券、年間2枚(半年毎に1枚)※使用条件あり	募集年度4月から1年間	○	○	○		併用可	○	○	・募集年度4月時点で学部1~4年生に正規生として在学する者(留年生は対象外) ・学業、人柄ともに優秀かつ心身ともに健康である者 ・前年の世帯年収税込600万円以下である者 ・観光業もしくは旅館・ホテル宿泊業に興味があり、自分なりの提案を持っている者 ・年1回の中間面談に必ず参加できる者	10名(予定)	学内選考無	0名	0名	0名			
6月	大学推薦	(一社)大学女性協会	給付	学部:200,000円/1回 院生:300,000円/1回	募集年度1回	○	○	○		なし	○	○	・女子学生に奨学金を授けたいという学業、人物ともに優れた女子学生で、身体に障害があり、身体障害者手帳の交付を受けている者 ・過去に当協会の奨学金を授けられていない者 ・在学中の学業成績が優秀な者 ・収入の場合は応募年の10月末日時点で在学1年以上である者 ・専業主婦として専業主婦として在学中の者	6名	1名	0名	0名	0名			
7月	大学推薦	(一財)種とまと財団	給付	80,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用不可(日本学生支援機構奨学金、地方自治体奨学金、授業料免除は除く)	○	○	・日本国籍を有し、募集年度4月に理工系大学の学部3年生で4年生へ進級が見込まれる者、または学部4年生で学内の修士(博士前期)へ進学が決定している者 ・学業優秀、健康、品行方正であり、経済的理由により学費の支弁が困難であること ・財団が主催する報告会等に出席できる者	30名	1名	3名	1名	1名			
7月	大学推薦	(公財)東原奨学財団	給付	20,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		併用可	○	○	・学業優秀、品行方正、身体健康である者 ・修学意欲がありながら、経済的理由によって修学が困難な者	3名	2名	0名	0名	0名			



【令和7年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和7年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。  
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。  
 ※ 詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内のあった時期	申請方法	財団名 奨学金名	給付/見合	金額(円)	支給期間	課程			専攻分野	併用条件	出願資格等		※募集要項。詳細は必ず募集要項を確認してください。	全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						学部	修士(前期)	博士(後期)			年齢	学内優待						
3月	直接応募	(公財)中谷財団	給付	博士課程前期:120,000円/年額 博士課程後期:200,000円/年額	正規の最短期修業年限				BME分野	併用不可(日本学生支援機構奨学金、公的奨学金は除く)	○	○	・日本国籍を有し、BME分野において博士号の取得を目指す者 ・財団の指定する書類、報告書等適時提出できる者 ・財団が実施する行事に出席できる者	12名程度				
3月	直接応募	(公財)似鳥国際奨学財団 上期	給付	50,000円~80,000円/月額 【11人材奨学生】として採用の場合は80,000円/月額	募集年度10月から1年間	○	○		学部生23歳以下、院生25歳以下(募集年度4月1日時点)	給付型奨学金との併用不可(貸与型奨学金との併用可)	○	○	・学力優秀、志望職業の両方を兼ね備えながら、経済的理由により就学が困難な者 ・日本国籍を有する者(永住権・定住権を有する者も可) ・財団が主催する交流会に出席できる者 ・財団が定めるレポートを適時提出できる者 ・アルバイト(月20時間以上)に従事している者	最大450名(上期・下期合わせて)				
3月	直接応募	(公財)似鳥国際奨学財団 下期	給付	50,000円~80,000円/月額 【11人材奨学生】として採用の場合は80,000円/月額	募集年度10月から1年間	○	○		学部生23歳以下、院生25歳以下(募集年度10月1日時点)	給付型奨学金との併用不可(貸与型奨学金との併用可)	○	○	・学力優秀、志望職業の両方を兼ね備えながら、経済的理由により就学が困難な者 ・日本国籍を有する者(永住権・定住権を有する者も可) ・財団が主催する交流会に出席できる者 ・財団が定めるレポートを適時提出できる者 ・アルバイト(月20時間以上)に従事している者	最大450名(上期・下期合わせて)				
3月	直接応募	(公財)寿財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	以下のすべてに該当する者 ①学部3年生で日本国籍を有する者 ②経済的理由により学費の支弁が困難である者 ③就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名		2名		0名
3月	直接応募	(公財)戸部眞紀財団	給付	学部生:60,000円/月額 大学院生:70,000円/月額 ※2024年度募集要項より、2025年度募集要項へ変更する人は、募集要項を必ずご確認ください。	正規の最短期修業期間	○	3年以上		30歳未満(募集年度4月1日時点)	併用可(ただし他の高額給付奨学金併用の場合は半額となる場合があります)	○	○	・学部3年生以上または大学院生で、化学、食品科学、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学(専門職学位課程は対象外) ・高学心に富み、学業優秀、かつ、品行方正であり、学費の支弁が困難と認められる者 ・奨学を志する者で、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 ・財団が行う交流会あり(1泊2日)(任意) ※給付は財団から直接、奨学金を奨学生へ、一泊二日の旅費に給付金も含まれます。	55名程度				
3月	直接応募	(公財)マブチ国際育英財団	給付	100,000円/月額 入学一時金 300,000円(募集年度4月入学者のみ)	募集年度4月から1年間	○	1~2年生			給付型奨学金との併用不可※	○	○	・アジア諸国の国籍(日本国籍を含む)を有し日本に在住する学部生で、経済的に困難な就学困難な者(世帯年収税込600万円未満) ・健康で学業成績優秀な者 ※財団の定める書類を提出し、認定された者については正規の修業年限を限度とし支給の継続あり ※日本学生支援機構給付奨学金の月額5万円まで併用を認め、超過金額を当財団の奨学金より減額して支給	無記載				
3月	直接応募	(公財)村井順記念奨学財団	給付	35,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	1年生		募集年度4月入学者	併給可(他の民間団体奨学金を除く)	○	○	・学業優秀、品行方正、身体健康で、経済的理由により修学が困難な者 ・財団が主催する行事(隔年1回)に出席できる者 ・財団が指定する報告書を適時提出できる者	若干名				3名
3月	直接応募	新規財団 (公財)LPC奨学金	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	・経済的理由により学費の支弁が困難であること ・GPA3.00以上の者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
3月	直接応募	(公財)エイブル文化振興財団	給付	600,000円/年額(学業優秀者) 400,000円/年額(住民税非課税世帯)	原則1年間	○				併用可	○	○	・学業優秀、品行方正であり、かつ経済的な支援を必要とすること ・将来、グローバルに活躍する夢を持つ者	40名程度				
3月	直接応募	新規財団 SONY STEAM GIRLS EXPERIENCE	給付	授業料相当額(最大120万円/年)	学部修了時または、博士課程前期修了時まで(4年又は6年)	○	1年生から高専からの編入者(3年生)		理工学部	併用不可			・女子学生	10名				
3月	直接応募	岡本育英奨学金	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・日本国籍を有し、経済学部3年生である者 ・経済的理由により学費の支弁が困難な者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
3月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生:160,000円/年額 学部2年生以上:200,000円/年額	募集年度4月から1年間	○			30歳未満	他の給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構給付奨学金は除く)	○	○	・学部に在学する在日朝鮮人学生(朝鮮半島にルーツを持つ学生で国籍不問) ・本国からの留学生は除く ・成績優良かつ学業の支弁が困難な者 ・本教育会の指定行事に積極的に参加できる者					
4月	直接応募	(一財)青木仁志啓育財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	1~3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	・経済的理由により学費の支弁が困難であること ・GPA3.00以上の者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
4月	直接応募	新規財団 (一財)センコーみらい財団	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	1年生				○	○	・「高等教育の修学支援新制度」の対象者であること ・自宅外生であること	20名				
4月	直接応募	(一財)中島洋三記念化学振興財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	2年生 3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	・日本国籍を有し、化学科系に在籍する学部3年生である者 ・経済的理由により学費の支弁が困難な者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
4月	直接応募	(一財)野村芳光財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	・学業優秀で、社会に対する貢献意欲の高い者 ・GPA3.00以上で、設計の収入基準が財団の定める金額以下に該当する者(募集要項を参照) ・財団が指定する書類を適時提出できる者	10名				
4月	直接応募	(一財)山村章奨学財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・経済的理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること ・学業成績 GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項を参照	10名				
4月	直接応募	(一財)神山財団	給付	300,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	1年生		35歳未満(募集年度4月1日時点)	併用可			・絵画(油画・水彩画・日本画・アクリル画・ペンペラ画・フレスコ画・版画など、具象が望ましい)を制作している修士1年生 ・奨学生に認定された後、自身のプロフィールに当財団からの支援経緯を記載すること ・将来的に美術を通して日本社会の発展に貢献する志を持っている者 ・財団が主催する成果展に出席できる者	20名程度				
4月	直接応募	(一財)谷育英財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可(理工学部(理工学部及びこれらに類するもの)	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項を参照	10名				
4月	直接応募	(一財)神保教育文化財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業期間	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	以下のすべてに該当する者 ①日本国籍を有する情報工学科に在籍する学部3年生である者 ②経済的理由により学費の支弁が困難である者 ③就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
4月	直接応募	(公財)T.O環境財団	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業期間	○	3~4年生		理工系(地球環境保全・廃棄物リサイクル関連)	併用可	○	○	・地球環境保全、廃棄物リサイクル等に関連する教育過程を選択している学生であること ・学業が優れ、品行が良く、かつ、健康である者 ・日本国籍を有している者	30名程度				
4月	直接応募	(公財)木原財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項を参照	10名				
4月	直接応募	新規財団 (公財)東電記念財団	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限		○ 修士(前期)1~2年生		28歳未満(博士課程進学、進級時点)	電気、エネルギー分野	○	○	・2026年度に日本国内の大学の博士後期課程への進学を希望するもの、または現在博士後期課程1年もしくは2年に在籍するもの。 ・2026年4月1日時点で、28歳未満であること。 ・学業成績・人物ともに優秀であり、心身ともに健康で、指導教官等の推薦を受けられるもの。	5名				
4月	直接応募	新規財団 (公財)日本フロンティア財団 T&D保護グループ学生応援基金	給付	600,000円/年額	正規の最短期修業年限	○	1年生		21歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・4月に日本国内の大学に入学する大学1年生 ・2025年4月1日現在、21歳以下の者 ・病気・事故等で両親または父兄いずれかを亡くした者 ・世帯年収800万円未満で、経済的支援を必要とする者 ・財団の定める1年学生の募集と推薦要項に同意できる者	5名				
4月	直接応募	(公財)杉山奨学財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	以下のすべてに該当する者 ①日本国籍を有し、経済学部系に在籍する学部3年生である者 ②経済的理由により学費の支弁が困難である者 ③就学状況及び生活状況について適時報告できる者	10名				
4月	直接応募	(公財)那-フルタイムシステム科 技術振興財団	給付	40,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	3年生	○ 1年生	30歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的理由により学費の支弁が困難である者 ・財団が定める報告書を適時提出できる者	15名程度				
5月	直接応募	(一財)加瀬不動産活用振興財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・学業成績GPA3.0以上	10名				
5月	直接応募	(一財)全国大学生協連奨学財団(たすけあい奨学制度)	給付	100,000円(一括給付) ※卒業・修了まで5か月未満の場合、月2万円の割合で給付	扶養者が亡くなって1年以内	○	3年生	○		併用可	○	○	・大学、大学院に在学する正規学生で、扶養者が死亡したため学業継続が経済的に著しく困難である者 ・扶養者が亡くなってから原則として6か月以内の応募であること ・大学生協連会員でなくとも応募可	特になし				
5月	直接応募	(公債)池田育英会トラスト「愛媛県」	給付	17,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	2年以上	○		併用可	○	○	・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者が愛媛県内に居住している者 ・学業、人物ともに優秀で、経済的支援の必要な者	5名(予定)				
5月	直接応募	(公財)ナガフヒまわり	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	2~4年生	○	学部23歳以下、院生25歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・成績優秀かつ学業の支弁が困難な者 ・給与収入世帯の場合は、世帯合計収入800万円未満の者。給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他所得400万円未満の者。 ・学業、研究科・専攻長、指導教官等の推薦する者。 ・学業の志を高く持ち、学業の専攻に力を入れている者。	60名程度				
5月	直接応募	(公財)ダイオーズ記念財団	給付	360,000円/年額	1年間	○	2年以上	○	学部23歳以下、院生25歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・将来の夢を実現させるために挑戦する意欲を持つ者、もしくは様々な能力を伸ばそうと意欲のある者 ・給与収入が世帯合計収入300万円未満、給与以外世帯所得150万円未満 ・GPA3.00以上 ・財団が主催する年2回の報告会に出席できる者	100名程度				
5月	直接応募	(公財)日本通運育英会	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○			18歳以上21歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	・学術優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な者 ・保護者等が交通事故により死亡、または後遺障害(等級等詳細は募集要項を参照)に該当する者 ・家計状況が財団の定める金額以下に該当する者	20名				1名
5月	直接応募	(公財)富山文化財団	給付	360,000円/年額	1年間	○	○	○		併用可	○	○	・「楽しく豊かな遊び文化」子供の遊育と健全な成長「日本のものづくり」のいずれかに関わる事業について、目標をもって学業に取り組んでいる者 ・毎月1回レポート提出ができる者 ・財団が主催する行事に参加できる者	34名程度				1名
5月	直接応募	(一財)KAWAJIRI FOUNDATION	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	3年生		25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的理由により学費の支弁が困難である者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できる者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安あり(詳細は募集要項を参照)	10名				
5月	直接応募	(一財)水道土木振興財団	給付	360,000円/年額	募集年度4月から1年間	○	○	○	25歳以下(応募締切時点)	併用可	○	○	以下のすべてに該当する者 ・学業の奨励が必要であると認められる者 ・将来社会的に有益な活動を目指す者 ・学業が優秀である者	13名程度				

【令和7年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和7年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。  
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲載板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。  
 ※ 詳細は必ず募集要項を確認してください。

案内のあった時期	申請方法	財団名 奨学金等名	給付/貸与	金額(円)	受給期間	出願資格等										全体での採用者数	大学種別	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						学部	修士(前期)	博士(後期)	年齢	専門分野	併用条件	学費優遇	面接	※概要です。詳細は必ず要項で確認してください。							
6月	直接応募	南地久治助奨学金 (社)佐倉市社会福祉協議会	給付	入学料、授業料、施設費等学校給付金として年間1,500,000円を限度とする奨費	正規の最短期修業年限	○			高23歳未満		併用不可(日本学生支援機構奨学金、授業料免除、貸与奨学金、通奨学金は併用可)	○	○	○	学部生で、以下のすべてに該当する者 ①佐倉市在住であり、ひとり親世帯かつ低所得世帯に属している者 ②健康であり、学業成績、人物ともに優秀である者(学業成績目安:大学等における総評定のうちA判定以上が1/3以上であること) ③学費の援助を必要とする家計状況である者 ④日本学生支援機構給付奨学金を受給もしくは申請をしている者	若干名					
7月	直接応募	(一財)田中孝典記念教育財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	○		25歳以下(応募締切時点)	理工系学部	併用可	○	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項確認	10名					
7月	直接応募	新規財団 (一財)日本知財人材育成財団 正林真之記念奨学金	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	○		25歳以下(応募締切時点)	理工系学部(理工学専攻及びこれらに類するもの)	併用可	○	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項確認						
8月	直接応募	新規財団 (一財)集木財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○	○		25歳以下(応募締切時点)		併用可	○	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項確認	10名					
8月	直接応募	2025年度募集 集より直接応募 (公財)寄人奨学金 寄人久行奨学金(博士課程)	給付	100,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○		2年生	医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等	併用可	○	○	○	・募集前年度秋(9月~10月)または募集年度4月に博士後期に入学することが決定している、または見込まれる学生 ・選考面接の通知は専門面接あり	10名程度					
9月	直接応募	次年度募集 (公財)岩佐教育文化財団	給付	1200,000円/年額	1年間(申請審査の上1年毎の更新可)	○	○				併用可	○	○	○	・大学(大学院生は除く)に在学する学生であり、経済的に学費の支弁が困難で、誠実に学業に励む意思を有する者	20名					
9月	直接応募	次年度募集 (公財)パロック村井博之財団	給付(助成費)	上限800,000円	募集年度4月から1年間	○	○	○			併用不可	○	○	○	・助成対象(衣川食川住)など生活に密着したサステナブルな社会発展に寄与する活動(研究・開発を含む)	5件程度					
9月	直接応募	タウト奨学金	給付	200,000円/1回	募集年度1回3月	○			25歳以下		併用可	○	○	○	・税理士資格または公認会計士資格の取得に専念し向学心がありながら、経済上の理由で資格取得の勉強継続が困難である者 ・学生又は就労していない者 ・給与世帯年収税込700万円以内、給与以外世帯課税所得380万円以内である者(両親のいずれかが会社経営者の場合は対象外) ・税理士試験2科目以上合格している者、または公認会計士試験を1回以上受験したことがある者 ・継続を希望する者は成績を証明する資料に基づき支給継続の有無を判断する	4名					
10月	直接応募	(一財)TCS奨学金	給付	50,000円/月額	募集年度4月から1年間	○	○	○	1年進級予定者、2年進級予定者	情報系	併用可(ただし審査基準要項の一部となります)	○	○	○	・日本国内に居住し、日本国籍を有している者 ・募集の前年度に在学して、募集年度4月時点で学部2~4年生または修士(博士前期)1~2年生に在学、進級見込みである者 ・最短期修業年限で卒業見込みである者 ・学力要件あり ・財団が主催する行事に参加できる者	学部生15名程度 院生15名程度					
10月	直接応募	(一財)荒井秀男記念財団	給付	200,000円/年額(一括給付)	正規の最短期修業年限	○			23歳以下(募集年度4月1日時点)	機械系、化学系、電気系	併用可	○	○	○	以下のすべてに該当する者 ①最短期修業年限にて卒業の見込みがある者 ②当該財団の奨学生ではない者、また過去に当該財団の奨学金または研究助成金を受けていない者 ③学業成績、人物ともに優秀であり、経済的な支援を必要とする者 ④財団が定める報告書を適時提出できる者	35名程度					
10月	直接応募	(公財)キーエンス財団 (貸与奨学金返還支援)	返還補助	返還金額の50%(最大240万円)	一括返還	○	○		4年生		併用可	○	○	○	日本学生支援機構からの貸与奨学金を受けている者 日本の大学に在籍する大学4年生(2026年3月に卒業する者) 入学後4年間(最短期修業年限)で卒業の見込みがある者 4年生になった年の4月1日現在、23歳以下である者。 ※ 休学期間は除く	200名					
10月	直接応募	社団法人つとむと21 坪井一郎・仁平忠彦支援プログラム (親民等、外国出身者向け)	給付	大学院生:60~1,200,000円/年額 学部生:50~1,000,000円/年額	募集年度4月から1年間	○	○	○	2年以上		併用可	○	○	○	日本に在籍している外国にルーツをもつ学生で、2026年4月に日本の大学に入学中(3年生以上)、または大学院に在籍・進学見込みで、以下のa)またはb)に該当する者 a) 親民とその子など、本人/親が親民またはそれに準ずる背景により来日した者 b) 原則として「定住」(永住)の在留資格をもつ者 ※ 既に日本国籍になった者も含む	15名程度					
10月	直接応募	霞山会	給付	100,000円/月額	修士:支給開始から2年間 博士:支給開始から3年間	○	○	○		中国または台湾に関する分野	併用不可	○	○	○	・日本国籍を有し、日本の大学院に在学する者 ・近現代中国または台湾に関する政治、経済、歴史、教育・文化の各分野を専攻する者 ・音楽、文学あるいは研究機関において研究活動を希望する者 ・成績優秀で心身ともに健康な者	5名					
10月	直接応募	新規に指定 大学院として承認 光科学技術研究振興財団	給付	200,000円/月額	最長3年間	○	○	○	申請時1年	光科学技術関連分野	月額10万円を超える給付奨学金等との併用は不可	○	○	○	・大学院の博士後期課程1~3年次 ・光科学技術関連分野で博士号の取得を目指している方(「光」をキーワードとした基礎・応用研究が該当) ・学業・人柄共に優秀であり、優れた研究能力を有すると認められる方 ・経済的な支援を要すると認められる方	3名					
11月	直接応募	新規財団 (一財)長嶺財団	給付	380,000円/年額	募集年度の1月から1年間 (※財団の指定する期間に在籍していること)	○	○	○	1年進級予定者、2年進級予定者、3年進級予定者		併用可	○	○	○	・奨励期限内に在籍を有する者 ・学業に意欲があり、かつ経済的な理由により修学の継続が困難な状況にある者 ・研究活動に意欲を有する者 ・GPA(平均成績)が2.4以上であること、1年生で在学学校の成績証明がない場合、高等学校における評定平均が3.5以上であること、高等学校卒業程度認定試験の合格者であること。 ・すべての成績(履修科目数)の1/3~1/2以上を在籍していること(給付理由中に卒業希望の最終学年の方は対象外)	8名(上限)					
11月	直接応募	次年度募集 (公財)佐々木木樹育英会 《口語詩句奨学金》	給付	600,000円/年額(月割)	募集年度4月から1年間	○	○	○	28歳以下(募集年度4月2日時点)	口語による詩・アフリズム・俳句・川柳・短歌に対する創作意欲がある者	併用可	○	○	○	日本国籍を有し、学部、大学院に4月時点で在学する学生で以下のすべてに該当する者 ①口語による詩・俳句・短歌・川柳・アフリズムに対する創作意欲がある者 ②優れた作品を通して、文学の発展に寄与するという熱意を有する者 ③支給期間中、財団運営の口語詩句投稿サイト72chに定期投稿(月2点以上)できる者	5名					
11月	直接応募	(公財)岩谷直治記念財団	給付	150,000円/月額	正規の最短期修業年限(最長2年)	○	○	○		修士30歳未満、博士20歳未満(募集年度4月1日時点)	自然科学系工学、理学、農学全般	併用不可、研究支援金等不可(10万円未満の学内奨学金は除く)	○	○	○	・支給1年目に5回開催される奨学生例會に出席できる者 ・支給2年目に1か月に1度研究の進捗状況を適時報告できる者 ・奨学生としての責任を自覚し、学業に専念する者 ・奨学金支給終了後も財団との関係を継続する意思のある者 ・国際交流と親善を積極的に行なう者	5~10名				
11月	直接応募	次年度募集 (一財)佐々木木樹育英会 《建築奨学金》	給付	学部600,000円/年額(月割) 院2,400,000円/年額(月割)	募集年度4月から1年間	○	○	○	29歳以下(募集年度4月2日時点)	建築を専攻	併用可	○	○	○	日本国籍を有し、学部、大学院において建築を専攻する学生で以下のすべてに該当する者 ①学費が優遇されている者 ②建築学及び建築文化の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ③一級建築士・構造設計一級建築士・設備設計一級建築士として独立し、自ら建築士事務所の開業を志している者	15名					
12月	直接応募	(公財)日本未来財団	給付	300,000円/年額(一括給付)	募集年度1回	○	○		3年生 1年生		併用可	○	○	○	・日本国籍を有する者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者 ・学業成績及び生活状況について適時報告できる者 ・GPAが3.0以上である者	10名					
9月	直接応募	(一財)吉川徹財団	給付	30,000円/月	正規の最短期修業年限	○	○		1~3年生		併用可	○	○	○	・得業ITエンジニアまたはWEBデザイナーとしてキャリアを築くことを希望している者 ・財団が主催する交流会に参加できる者 ・財団が定めるレポートを適時提出できる者	10名					
3月	直接応募	NPO法人ふれあい自然塾 松井奨学金	給付+貸与	30,000円/月額 (給付20,000円+貸与10,000円(無利子))	正規の最短期修業年限	○	○		1年生19歳以下、2年生20歳以下(募集年度4月2日時点)		併用不可	○	○	○	・修学を継続する意思がある者 ・修学のために経済的な支援が必要と認められる者	各学年10名程度					
4月	直接応募	(一財)あしなが育英会	貸与(給付)	一般 40,000円 特別 50,000円 (あしなが育英会奨学金給付金、次高大学支援制度(月割)で給付)月額40,000円(貸与)10,000円(無利子)	正規の最短期修業年限	○	○		1~3年生	25歳以下		併用可	○	○	○	・保護者が病気や災害(道路上の交通事故を除く)もしくは自死などで死亡、または保護者が1歳から5歳の障害認定(詳細は募集のしおり参照)を受けていて、経済的な援助を必要としている者 ・財団が主催する交流会に参加できる者 ※2023年度より制度が変わりました。詳細は財団ホームページで要確認	250名程度				2名
4月	直接応募	(公財)交通遺児育英会	給付+貸与	学部4~60,000円(3か20,000円は給付)/月額 院5~100,000円(3か20,000円は給付)/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○		25歳以下(申込時)	併用可	○	○	○	・保護者等が道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のため働けず、経済的に修学が困難な者 ・学部生は対象外あり ※在学採用・大学、大学院に在学する学生 ・予約採用・募集年度4月に大学院に入学予定の学生	学部300人 院20人					
2月	直接応募	(公財)花王 芸術・科学財団 花王啓蒙奨学金	貸与	90,000円/月額 または 100,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○		1年生	30歳以下(募集年度4月時点)	併用可	○	○	○	・募集年度4月に修士課程1年に進学する(予定の)者 ・芸術または科学の分野で学び、健康で学業成績、人物ともに優れた自己成長意欲のある者 ・経済的な理由により学費の支弁が困難である者	10名程度					
2月	直接応募	(公財)常盤奨学会	貸与	35,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○				併用可	○	○	○	・募集年度4月1日時点で在学中か、4月より入学予定の者 ・福島県いわき市、茨城県北茨城市およびその周辺地域居住者の子弟の者	5名程度					
3月	直接応募	(公財)滋養協会<広島県>	貸与	20,000円/月額(無利子)	正規の最短期修業年限	○	○	○			併用可	○	○	○	・広島県内の高等学校もしくは中学校を卒業し、東京都内並びにその周辺の大学、大学院に在学する者 ・学習状況が良好であるが、経済的理由により修学が困難である者	記載無し					
3月	直接応募	上越学生支援奨学金 上越市、妙高市、糸魚川市	貸与	学部70,000円/月額(無利子) 院100,000円/月額(無利子)	貸付決定月から 正規の最短期修業年限	○	○	○			併用可 (上越市奨学金との併用は不可)	○	○	○	・上越市、妙高市、糸魚川市のいずれかに3年以上住所を有した者で、かつ、そこに所在する中学校または高等学校を卒業した人のうち、学業に優れた学部生あるいは大学院生						
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業 《産業界人材確保枠》	返還補助			○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
8月	直接応募	東京都介護職員奨学金返済・育成支援事業	返還補助			○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
9月	直接応募	(公財)東京しごと財団	返還補助			○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						
9月	直接応募	東京都障害福祉サービス事業職員奨学金返済・育成支援事業	返還補助			○	○	○							それぞれ定められた条件を満たす場合に返還を補助してくれる制度です						